

Miyoshi
city

周辺観光地のご紹介

四国・徳島 三好市

剣山

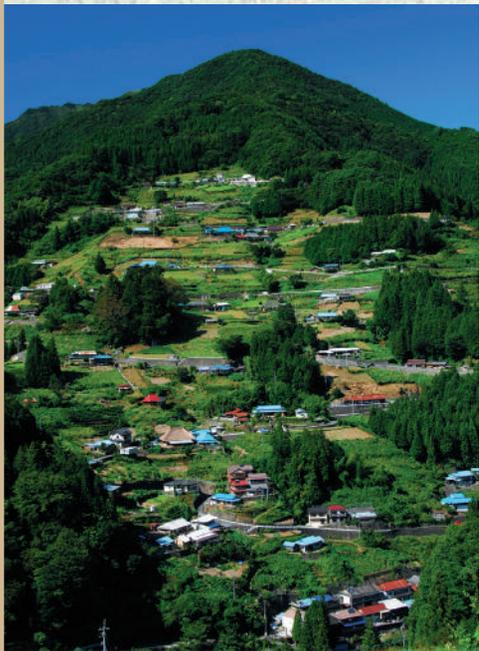
国定公園指定50周年を迎えた剣山(つるぎさん)は、徳島県西部「にし阿波」に位置する標高1,955mの西日本第二の高峰で、日本百名山の一つです。別名を太郎笈(たろうぎゅう)とも呼ばれ、頂上は隆起準平原と呼ばれる平らな地形に笹原が広がっています。一帯は剣山国定公園に指定されており、山頂付近の「剣山御神水」は環境省の名水百選にも選定されています。夏には世界でも希少な植物であるキレンゲシウマの凜とした黄色い花が訪れる人々を迎えてくれます。



キレンゲシウマ



雲海



落合集落

江戸中期から昭和初期に建てられた民家。谷から運んだ石を一つ一つ積み上げた石垣と畑が急斜面に広がり、懐かしい山村の原風景に出会えます。国の重要伝統的建造物群保存地区。

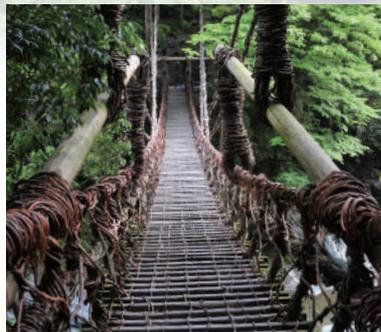


奥祖谷二重かすら橋

平家一族が、平家の馬場に通うために架けたといわれる橋。男橋と女橋の2本あり、「夫婦橋」とも呼ばれています。女橋のすぐ横には、ロープを引ながら渓谷をわたる「野猿(やえん)」があり、貴重な体験ができます。



野猿



祖谷のかすら橋

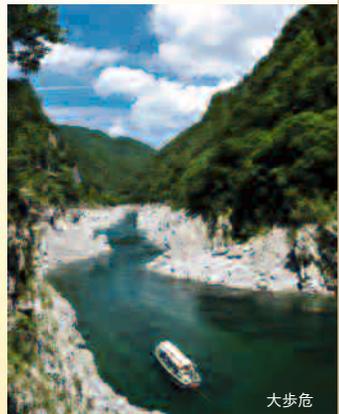
民謡「祖谷の粉ひき節」にも歌われるかすら橋は、平家一族が追っ手から逃げるため、いつでも切り落とせるようにと、シラクチカスラで造ったといわれています。今では、3年に一度、安全のために架け替えられています。何とも言えないスリルを味わえます。



小歩危

大歩危・小歩危

大歩危・小歩危は吉野川沿いの約8kmの渓谷。2億数千年前から浸食されたという岩の彫刻美、紅葉や新緑の美しさ、県天然記念物の含礫片岩も間近に見物できます。



大歩危

平家伝説が残る地

祖谷地方は1185年の屋島の合戦に敗れた平国盛一族が、幼い安徳帝をお守りして、三好市東祖谷の大枝名に入山しました。後に国盛は阿佐名に住居を構え、平家再興を図っていましたが、願い虚しく安徳帝は突然崩御されてしまいました。国盛は、大枝に安徳帝を祀る銚神社を、阿佐に定福寺と十二社権現を建立し、帝と祖先の冥福を祈ったと伝えられています。



池田うだつの町並み



天空の村・かかしの里



祖谷溪(ひの字溪谷)



奥祖谷観光周遊モノレール

※定期観光バスでは行かないところもあります。

観光に関するお問い合わせは

三好市観光案内所 ☎0120-404-344

●その他観光・宿泊案内などはHPで

三好市観光ナビ <http://www.miyoshinavi.jp/>